



世界経済への考察

令和8年2月3日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

為替と物価、インフレは、世界における富という視点から、全ての国家におけるその豊かさを正しく理解することができる。

これらは、産業と実体経済、所得と経済総生産などとともに、新たな世界経済の枠組みへの移行を行うものである。

これらは世界においてグローバルスタンダードが存在し、豊かさの下、社会の2分化を得るものである。

これら世界経済の背後には、巨大な資本が存在する。これは世界における文明の興隆は、それら資本の移動とともに与えられたことは理解すべきである。

これら新たな世界経済の現実への理解は、個々の国家において、その枠を離れ、資本がグローバル経済において、その拡大を求めるなどは理解すべきである。

また世界経済の統一は、貿易やグローバル企業において、その自己基準は、グローバルスタンダードでありもはや国内基準でないである。

これらはライフラインにおける貨幣価値が、インフレにおいて今日その大きな貧困を生むことは理解されるべきである。

これらはグローバルスタンダードにおける世界経済の再構築は、インフレや、為替変動を与え、世界のすべての地域において、その基準の下、新たな経済の再構築が存在するのである。

また各国家における財政状態は、今後世界経済の変化において、大きく留意されるべきであると考えられる。

これらは新たな現実への移行が存在し、それらは新しいエリートたちの理想であることは確かである。そのため新たな経済の枠組みの合意や創造は、公正な本来の経済の意味と価値への回帰を提案できるかもしれない。



これらは金は踊るという、世界経済の真実に対して、経済が人々のライフラインの維持という本来の意味への回帰を求めるとき、新たな経済のシステムへの合意を世界へ提案できるかもしれないである。